

群馬県立女子大学 外国語教育研究所だより

FLRI Newsletter vol.45

Foreign Language Research Institute 2024.10.17

外国語教育研究所所長挨拶

「頼られる研究所に」 外国語教育研究所 所長 塩澤 寛樹

日頃より外国語教育研究所に対し、御理解と御協力を賜りましてありがとうございます。当研究所では、本学学生への留学相談や「世界に飛び出す県女生」を応援する本学独自の「留学支援プログラム」の実施、県内高校生を対象に国際舞台で活躍できる人材育成のための「明石塾」や研究員による高等学校や小学校への英語授業支援、地域の皆さまへの国際交流の場を提供する英会話サロン「グローバルカフェ」など、「留学支援」、「人材育成」、「地域貢献」をキーワードに様々な取組を行って参りました。今後も学生や県民の皆様から、「頼られる研究所」を目指し、内容の充実をさらに進めていきたいと考えております。皆様の御支援を何とぞよろしくお願い申し上げます。



高等学校連携英語授業 高等学校の御要望に応じて研究員が授業を行います



外国語教育研究所では、高等学校との連携を深め、英語学習の環境づくりを通して高校生の英語力向上と大学での学びにつながるような支援を行っています。各学校と支援内容を相談しながら、御要望や指導計画等に応じた授業を実施しています。前期は高崎経済大学附属高校と高崎商業高校、沼田女子高校で実施しました。後期には、伊勢崎高校、中央中等教育学校、高崎女子高校でも実施予定です。

高校生たちは、環境問題やコミュニケーション、文化やアイデンティティーなどをテーマに、グループでディスカッションをしたり、互いにプレゼンテーションを聞き合ったりするなど、協働して学ぶ態度を身に付けていきます。研究員からの個別支援を受けやすい環境で、積極的に英語を使う様子がみられるなど、生徒の主体性を発揮できる場面も数多く設けられています。

連携英語授業を御希望の際は、本学ウェブサイト「高等学校連携英語授業」のページを御確認のうえお申し込みください。



高崎経済大学
附属高校



高崎商業高校



沼田女子高校



2024年度明石塾活動報告(7月~9月) 第23期生の活動が始まりました



7月27日(土)に入塾式が行われ、男子7名、女子13名の計20名(学校数11校)の活動がスタートしました。7ヶ月間にわたり、塾生たちは県立女子大学の教授陣による講義や、外国語教育研究所研究員による英語研修、県内・県外フィールドワークや東南アジア海外研修を通して、発言力や行動力を身に付け、国際的な視野を養っていきます。

2024年度
明石塾
研修計画

日付	曜日	午前研修・講義 (10:00~12:30)	午後研修・講義 (13:30~16:00)
			(13:30~15:30) 講義 (15:30~16:00) 振り返り等
7月27日	土		(13:00) 入塾式 (13:40) 塾長との懇談会
7月31日	水	Introduction (江原副所長・金岡主幹) 海外研修について (JTB)	【大学講義①】 「『奥の細道』の成立経緯」 文学部国文学科 二村博先生
8月1日	木	英語研修① David / Dermot Class Building / Get-to-Know Activity	【大学講義②】 「『論理的に考える』とはどのようなことか」 文学部文化情報学科 細川雄一郎先生
8月2日	金	英語研修② Milena Non-Verbal Communication	【大学講義③】 「文化の内実、そして、場所から考える幸福」 文学部英米文化学科 小林徹先生
8月5日	月	【大学講義④】 「群馬のグローバルスタンダード・3選」 群馬学センター 築瀬大輔先生	英語研修③ Mark Appearance and Stereotypes
8月6日	火	英語研修④ Dermot Japanese Identity	【大学講義⑤】 「AIの『思考』と人間の『直感』: 認知行動科学の視点から」 国際コミュニケーション学部 グローバル社会システム課程 甲村美帆先生
8月7日	水	【大学講義⑥】 「Introduction to Psycholinguistics」 国際コミュニケーション学部 グローバル・コミュニケーション課程 小笠原奈保美先生	英語研修⑤ David Cultural Drift and Migration
8月23日	金	県内フィールドワーク (サンデン株式会社)	
8月24日	土	英語研修⑥ Mark Environmental Issues	夏季大学講義・県内フィールドワークのまとめ
9月7日	土	英語研修⑦ Timothy Population Growth	研究所職員講義① 江原副所長
9月14日	土	英語研修⑧ Harry Japan's Aging Society and Immigration	研究所職員講義② 江原副所長

入塾式及び塾長・事務局長との懇談会（7月27日）

塩澤寛樹塾長式辞（一部抜粋）

みなさんの自己紹介文を一通り読み、それぞれが希望をもって、将来こんなことをしたいとか、明石塾にこんなことを求めているなど、皆さんの個性がよくわかりました。その中で共通しているのは、皆さんが非常に積極性をもっていているということ、非常に意欲あふれて明石塾に臨もうとしていることです。明石塾の中にはディスカッションの時間やいろいろなジャンルの講義が設けられています。この明石塾が、グローバルに活躍できる能力を身に付けるきっかけになってもらえればと願っております。

高井理帆さん（前橋女子高校1年）入塾生代表挨拶（一部抜粋）

海外研修や企業訪問、仲間との討論などといった活動を通して様々な人々と交流し、多種多様な価値観を学びながら柔軟な思考をもった心豊かな人間になりたいと思います。将来、私たちがここで培った力を駆使して世界に発信して、日本にとどまらず世界に貢献できるよう、明石塾の活動に全力で取り組みます。



塩澤寛樹塾長式辞



塾生代表挨拶



入塾式の様子

入塾式後、塩澤塾長と佐嶋洋子事務局長との懇談会が行われました。塾生一人一人が自己紹介を行ったあと、自分の将来像や日頃の情報源等について自由に意見を交換し合い、有意義な懇談を行いました。その一部をご紹介します。

【塩澤塾長】私はこういうことをやりたいと話してみようという人は、積極的にどうぞ挙手をお願いします。

【塾生 A】私は将来、まず国内で生活に困っている外国人の方がどうやったら生活の改善につながれるかということを知り、そこから発展途上国や生活の仕組みが整っていない国に実際に行って、海外の人たちが一人でも多く幸せな生活ができるよう支援する仕事に就くことができればいいと思っています。

【塾生 B】私は今年の春カンボジアの小学校で交流をしてきたのですが、教室には電気が点いていなくて、窓から差し込む光だけで日々授業を受けていました。そんな中でも子どもたちの笑顔や情熱、エネルギーを感じて、そういう子どもたちの笑顔をこれからも守り続けられるような人になりたいと心から思い、貧困地域や発展途上国の教育に携われるような職業に就きたいと思っています。

【塩澤塾長】解決すべき問題、憂うべき問題に関心をもち、それらを自分で解決したいという人がとても多いと思いました。そういうこととも関連するのですが、新聞はどれくらい読んでいますか？みなさんから、いろいろな情報の判断基準をもちたいという話が出てきました。どこから情報を得るかという1つの有力なコンテンツに、新聞があると思います。なぜ新聞を薦めるのかというと、責任の所在が明確だからです。時には記事を書いた人の名前が出ていたり、記事そのものに会社が責任をもつという情報であるからです。皆さんの中には社会問題や国際問題にすごく興味をもっている人が多いと聞きました。得体の知れない情報ではない、責任の所在がはっきりしている情報にたくさん触れて、どこか間違っているところはないかと常に考えながら接していくことが、今の皆さんにはすごく大切ではないかと思っています。



塩澤塾長（左）、佐嶋事務局長（右）



懇談風景



本学教授陣による講義（7月31日～8月7日）

夏季研修では、塾生たちは本学教授陣による専門分野の講義を6日間連続で受講しました。初めのうちは大学の本格的な講義に圧倒される様子も見られましたが、教授方が身近な例を交えて講義を進めてくださり、すぐに引き込まれていきました。講義後の質疑応答では、塾生たちの質問に対し、先生方が真摯に応えてくださいました。全ての講義を終える頃には、塾生たちは各講義が何らかの形で相互に関連していることに気づき、グローバルな人材として必要な力を身に付けるための重要なヒントを得たようです。



『「奥の細道」の成立経緯』
文学部国文学科 二村 博先生



「論理的に考える」とはどのようなことか
文学部文化情報学科 細川雄一郎先生



「文化の内実、そして、場所から考える幸福」
文学部英米文化学科 小林 徹先生



「群馬のグローバルスタンダード・3選」
群馬学センター 梁瀬大輔先生



「AIの「思考」と人間の「直感」：
認知行動科学の視点から」
国際コミュニケーション学部
グローバル社会システム課程 甲村美帆先生



「Introduction to Psycholinguistics」
国際コミュニケーション学部
グローバル・コミュニケーション課程
小笠原奈保美先生

【塾生の「気づき」や「学び」】＊「ふり返しシート」から一部抜粋

- ・学問という形で奥の細道を学び、文章を読み解くだけでなく芭蕉達の旅の行程や芭蕉と曽良たちがどのような人だったのかを詳しく知ることができたのは初めての感覚で楽しかった。
- ・「危険な推論が少しでも起こらなくなるように授業をしている。安全的且つ生産的な推論を目指している。」という先生の言葉が印象に残りました。間違えた行動や、おかしい結論を導かないためにも正しい推論規則を身に付けられるようになりたいと思いました。
- ・価値観が物事に優劣をつけることを学び、自分なりに根拠をもって納得できる独自の価値観をもつことや、多様な価値観を理解することの必要性和重要性を実感しました。昨日の論理的な思考についての講義で学んだことも活かして、自分なりの根拠をもち、独自の価値観を確立していけるように物事を観察して、知見を増やしていきたいです。
- ・私たちは世界を知りたいと思い明石塾に入塾しましたが、世界ばかりに目がいってしまい群馬について知る機会の重要性を忘れていたのではないかと思います。正しい知識をもち、自信をもって群馬県民として世界で活躍できる人材になりたいです。
- ・AIは意外と人間と多くの共通点をもっていることに驚きました。また、最新の研究を見て、AIの進化はすごいなと思うと同時に、少し怖くも感じました。これから人間がAIを用いるのに当たって、支配-被支配の関係にならないように、人間がAIを使う立場でい続けることが大事だと思います。
- ・「どんな言語も同じレベルで、優劣はない」という言葉が印象に残っています。英語が喋れるから偉いということは存在せず、先生がおっしゃっていたように、スキルとして言語を捉えるだけではなく、科学として言語を学んでいくことも大切なのだと思いました。

研究員による英語研修

研究員による英語研修では、文化、コミュニケーション、国際問題等をテーマにした英語講義を受け、塾生同士で議論します。研修はすべて英語で行われ、塾生が世界の舞台で活躍するために必要なコミュニケーション力や歴史的、文化的背景知識を身に付けていきます。



Timothy Witherow 主任研究員



Mark Yoshida 研究員



Dermot McSweeney 研究員



Milena Kanna 研究員



David Sakai 研究員



Harry Meyer 研究員



英語研修の様子



県内フィールドワーク（サンデン株式会社）（8月23日）

今年度は、サンデン（株）を訪問し、会社概要や主力製品をはじめとする様々な製品を説明していただいたり、館内の設備や展示を見学したりしました。また、グローバルな部署で活躍している管理職の方に講話をしていただき、業務内容や海外勤務の経験談に加えて、高校や大学での生活といった塾生に身近な話題についてもお話いただきました。最後に、グローバルな分野で活躍されている技術開発者の方とのグループディスカッションが行われ、海外勤務の苦労話や、英語の重要性、多様な価値観の理解など、グローバルに活躍する上での貴重な話を伺うことができました。



営業本部営業企画セクションの方からの講話



グループディスカッションの様子



フィールドワーク終了後の記念撮影

企業英語研修 ビジネスの現場で活かせる英語を身に付けます

企業との連携を通して地域社会に貢献するため、研究員による英語研修を行っています。4月9日(火)には、サンデン株式会社の新入社員研修において、英語研修を実施しました。自己紹介のペアワークや相手紹介のグループワークを通して、研修会場はすぐに英語を使う雰囲気になり、参加者は活発に英語でコミュニケーションをとっていました。職場での様々な役職名や役職に応じた依頼の英語表現を使ったチーム戦では、英語を繰り返し使いながら自然に身に付けていく様子が見られました。

各企業の課題やご要望に応じて、指導経験豊富な研究員が英語研修プログラムを組んでいます。これからも、積極的に地元企業と連携し、地域に貢献してまいります。



Milena 研究員による指導



Mark 研究員による指導

留学支援 長期留学13名、短期研修(夏季)27名が海外へ

奨励金の支給や留学情報の提供、各種説明会や諸手続についての相談などを随時行い、留学を希望する県女生を全力でバックアップしています。



【前期出発長期留学】

	国名	大学名	期間	人数
1	中国	蘇州大学 (交換留学)	6ヶ月	1
2	韓国	高麗大学校 (交換留学)	1年	1

【後期出発長期留学】

	国名	大学名	期間	人数
1	カナダ	トンプソン・リバーズ大学	6ヶ月	4
2	カナダ	セルカーク大学	1年	1
3	カナダ	セルカーク大学	1年	4
4	アメリカ合衆国	ハワイ大学ヒロ校 (特別派遣留学)	1年	1
5	マレーシア	マラヤ大学 (交換留学)	1年	1

【夏季短期研修】

	国名	大学名	期間	人数
1		サイモンフレーザー大学	4週間	5
2	カナダ	ハートランド インターナショナル	6週間	1
3		イングリッシュ スクール	7週間	1
4		ILACバンクーバー校	4週間	1
5	オーストラリア	グローバル・キャリアインターン研修	4週間	2
6		RMIT大学附属英語学校	5週間	3
7		西オーストラリア大学附属英語学校	4週間	1
8	ニュージーランド	オークランド大学附属語学学校	4週間	3
9		日本語教師インターンシップ	4週間	2
10		リムリック大学附属語学学校	4週間	4
11	アイルランド	ナセル英語学校ロンドン	3週間	1
12	アメリカ合衆国	インディアナ大学パデュー大学 インディアナポリス校	4週間	1
13	フィリピン	ラプラプセブ国際大学	3週間	1
14	韓国	弘益大学校語学堂	3週間	1

(R6.8.31時点)

群馬県親善学生大使委嘱状交付式 (7月12日)

留学支援プログラムを利用して海外留学を行う学生は、群馬県の親善学生大使を委嘱されます。7月12日(金)に群馬県親善学生大使委嘱状交付式を実施し、長期留学後期出発参加者及び夏季短期研修参加者が出席しました。今回は、学生36名が親善学生大使を委嘱され、塩澤寛樹学長、佐嶋洋子事務局長、野口和彦国際交流委員会委員長から激励の言葉をいただきました。8月からカナダのトンプソン・リバーズ大学へ留学する高間咲輝さん(国際コミュニケーション学部3年)が、「多種多様な留学生と交流しながら、彼らが『ぜひ群馬を訪れたい』と思えるような群馬の魅力の発信をしていけたらと思います。」と大使としての決意を表明しました。



学生に群馬県親善学生大使委嘱状を渡す
塩澤寛樹学長



学生大使代表挨拶 (高間咲輝さん)



学生大使への激励の言葉
(塩澤寛樹学長、佐嶋洋子事務局長、野口和彦国際交流委員長)

English Help Desk 英語学習でお悩みの県女生をサポートしています!

English Help Deskでは、研究員が本学学生を直接指導し、学生の英語力向上を支援しています(支援内容によっては、研究所係員(日本人)が指導する場合もあります)。

学生との面談を通して、英語学習に関する悩みや目指す姿を研究員が丁寧に聞き取り、英会話や卒業論文支援、留学相談などそれぞれの学生に合った指導を定期的に行っています。4月から8月の相談者数は371名で、昨年度を大きく上回っています(R5年度同時期288名)。今後も研究所の人的資源を最大限活用し、学生たちの英語に関する課題解決を支援してまいります。



学生への
指導の様子



グローバルカフェ 県民の皆様へ国際交流の機会を提供しています

研究員と気軽に英会話を楽しむことができる「グローバルカフェ」を今年度も計3期実施します。第Ⅰ期(5月~7月計8回実施)には、県女生を含む約40名の幅広い年齢層の方にご参加いただき、大変ご好評をいただきました。

参加者の感想

- ・週に一度、英語で話す機会をもつことができるととても楽しく、英語のスピーキング力を付けられるのでまた利用したいです。
- ・難しい話題の時もありますが、他の方の助けをお借りして理解することができ、楽しく参加することができました。
- ・いろいろな年齢層の参加者の方と関わることで、皆さんのお話を聞くのがおもしろかったです。自分の英語力アップにもつながりました。

※第Ⅱ期: 10月~12月(全8回) 第Ⅲ期: 1月~2月(全6回) 実施予定
(詳細は大学ウェブサイトに掲載します。)



【人事異動】

教務補助	新井 桂子	退職(6月30日付)
教務補助	安田 慶子	採用(8月1日付)

